2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	平山雅月、小澤悠生			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>発声などのヴォーカルトレーニングとコーラスなどを学びながら、現代のJ-POP・Rockのルーツをさかのぼって学習していきます。ボーカリストに必要な呼吸法、音程コントロール、体の使い方などを総合的に、かつ多角的に修得することにより基礎ができる。基礎作りにより自分の声の特性を理解した上であらゆるジャンルと現場に適用できる実践力となるボーカリストを育成する。また現代のボーカリストはライブのみならず様々な発表の環境と録音環境に対応できる必要があるため、心構えを習得する。初見で正確に楽譜を読み、歌えるよう学習していきます。DAWを使い、ボーカリストとして自分の歌をレコーディングできるようになる。</p>											
到達目標											
<p>ピアノ伴奏をベースに合奏、独唱歌唱、ボイストレーニングを実施する。「抑揚」「リズム感」「表現」を育てることを目標とする。自立して一人で活動していくことのプロセスを学び、テクノロジーを活用したサウンドロゴと、その制作法も体得する。各々が持つ声のポテンシャルを引き出し、魅力的な声を発声できる基礎を作る。どんなジャンルでも歌いこなせるような音程のコントロール、ビブラートやしゃくり、フォールダウンなどの基礎的なテクニックの習得する。本番環境でも安定した歌を歌えるようなメンタルを養う。与えられた楽譜をすぐに読み、それを正確に歌えることができることを目標とします。自立して一人で活動していくことのプロセスを学び、テクノロジーを活用した制作法を体得する。</p>											
授業方法											
<p>歌唱法、演奏法、各ツールの操作法や、サウンドの加工やエフェクトの使用法を解説します。実際にクライアントに求められるような内容に沿ったサウンド作品を制作します。各自の練習/創作法に対して個別最適化した対応を行いながら、各々の内容に沿ったアドバイスをを行います。自分の声と体に向き合い、歌に必要な体力や声帯のコントロールを身に付けるトレーニングをする。自分の声を客観的に分析できるように練習を録音する。人前でも自分の声を魅力を最大限に出せるように、グループでの発声練習と個人での発声練習を並行して行っていく。音符の読み方、リズムのとり方、調子を学び、簡単なフレーズを初見で歌えるよう進めていきます。録音機材を使用する方法を学習します。譜面に書いたメロディーやコードをMIDIで打ち込みしたり歌として録音し、また、メロディーに対するハモリの録音を行います。</p>											
成績評価方法											
<p>試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
適時、講師より教材を配布する。適時、講師より教材を配布する。適時、講師より教材を配布する。適時、講師より教材を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	作成してきた楽譜を講師の演奏で確認。/アンビエント系サウンドを使用したサウンドロゴ制作。課題曲を選曲前期の振り返り前期復習										
第2回	楽曲に対する考察。/アンビエント系サウンドを使用したサウンドロゴ制作。課題曲を使って、出だし音、フレーズのおさめ方のパターンを学ぶト音記号Cスケール4小節、三連符の初見/へ音記号Cスケール4小節、三連符の初見録音機材の使い方を学ぶ										
第3回	BPMを決める。/バンドサウンドのサウンドロゴ制作。課題曲を使って、ブレスのトレーニング(ブレスの種類、ブレスの位置を学ぶ)ト音記号Cスケール4小節、二拍三連符の初見/へ音記号Cスケール4小節、二拍三連符の初見8小節のコードトラックを作り歌を録音する										

2022年度 日本工学院八王子専門学校

ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース

ベーシックレッスン2

第4回	イメージを基に歌う。/バンドサウンドのサウンドロゴ制作。課題曲を使って、しゃくり、フォールダウン、エッジボイス、ウィスパボイスの体感するト音記号Gスケール4小節の初見/ヘ音記号Gスケール4小節の初見8小節のコードトラックを作り歌を録音する
第5回	改めて楽曲に対する考察とディスカッションと細かな指導。/バンドサウンドのサウンドロゴ制作。課題曲を使って、リズムコントロールのためのリズムトレーニングト音記号Fスケール4小節の初見/ヘ音記号Fスケール4小節の初見8小節のコードトラックを作り歌を録音する
第6回	間奏の考察。/デジタルサウンドのサウンドロゴ制作。課題曲を使って、デュレーションのトレーニング（タッカーで歌う、スラーで歌う）ト音記号Dスケール4小節の初見/ヘ音記号Dスケール4小節の初見8小節のコードトラックを作り歌を録音する
第7回	終わり方の考察。/デジタルサウンドのサウンドロゴ制作。課題曲を使って、ダイナミクスのコントロールを体得するト音記号Dスケール4小節の初見/ヘ音記号Dスケール4小節の初見譜面を見ながら8小節のメロディーを打ち込む
第8回	最終的な楽譜、構成の確認。/Webページ作成サービスを利用した作品発表。課題曲を使って、声門アタック、息抜きのテクニックとのトレーニングト音記号B♭スケール4小節の初見/ヘ音記号B♭スケール4小節の初見譜面を見ながら8小節のメロディーを打ち込む
第9回	メトロノームを使った練習。/Webページ作成サービスを利用した作品発表。課題曲を使って、リズム取りの声門アタックテクニックを学ぶ（アフターで歌う、食い気味に歌う）ト音記号Aスケール4小節の初見/ヘ音記号Aスケール4小節の初見譜面を見ながら8小節のハモリを打ち込む
第10回	伴奏とのすり合わせ。（抑揚、強弱など）/Webページ作成サービスを利用した作品発表。課題曲を使って、発音のパターンを学ぶト音記号E♭スケール4小節の初見/ヘ音記号E♭スケール4小節の初見譜面を見ながら8小節のハモリを打ち込む
第11回	全体的な流れの確認、修正。/Webページ作成サービスを利用した作品発表。課題曲を使って、音域を広げるトレーニングト音記号Fスケール8小節の初見（8分音符、シンコペーション含む）ハモリの録音
第12回	1曲通しての演奏と最終確認。/オリジナルサウンドロゴ制作。課題曲を使って、声に表情をつけるトレーニングト音記号Gスケール8小節の初見（三連符含む）ハモリの録音
第13回	本番を意識した授業内リハーサル。/オリジナルサウンドロゴ制作。声を健康に保つテクニックを学ぶト音記号Dスケール8小節の初見（8分音符、シンコペーション、三連符を含む）ハモリの録音
第14回	発表会。/オリジナルサウンドロゴ制作。授業内発表テスト後期まとめ
第15回	後期のまとめ。後期のまとめ後期、全体まとめ全体まとめ